

湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

# 平塚市がすすめる平塚海岸樹林帯伐採開発と対話と見直しを求める住民運動の10年

## 2013年

平塚市が湘南海岸公園再整備計画を策定。当初は市営プールの跡地を使って地域の人が集える公園が作られる計画だった。

## 2017年

樹林帯も伐採する巨大開発計画に変更になる

## 2018年

反対している地元自治会が副市長と話し合いを開始

## 2019年

「市民の会」が計画の見直しを求めて8,086筆の署名を市長に提出

## 2020年

樹林帯を守るため、近隣住民が県知事に対して保安林申請をする(後に却下)

樹林帯の素晴らしさを多くの人にとってもらうため「第1回海街フェス」開催

## 2021年

市民団体と自治会が樹木の塩害防止効果を調査によって明らかにする

横浜国立大学 藤原名管教授が見直しを求め県庁へ意見書提出

## 2023年

開発見直しを求め、署名1万筆が市長に提出される

平塚市の海岸地域8自治会と「市民の会」が県知事に対して見直しを求める意見書を提出

## 2024年

1月 住民の反対を押し切ろうとする平塚市に対して、法的観点から開発内容を検証するため「平塚の宝!ウミガメのくまちを守る原告団」発足

2月 税支出23億円を平塚市長が議会に提案

7月 工事着工(予定)

2025年 秋ごろオープン(予定)



もっと知りたい、応援・参加したい方は  
Instagram 海街フェス  
note yutakaSEA  
知っているに意味があります!そこから大きな力が生まれます!  
原告団についてお問合せ・参加したい方は  
MAIL: umimin.hira@gmail.com (担当: 山崎)

## 平塚の宝!ウミガメのくまちを守ろうニュース Vol.1



# Umikuru JOURNAL

Special Issue **01**  
Introduction

Newsletter for every citizen who loves nature and wants justice.

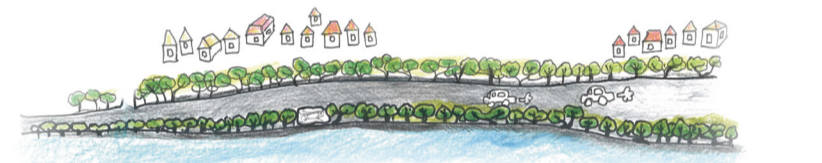


ウミガメが40年経ってふるさとの海岸に帰ってくる

## 平塚海岸はウミガメの産卵地

知ってますか?  
平塚にはウミガメがくるんです。それが今はなくなろうとしています。落合市長と積水ハウス等が進める海岸樹林帯伐採計画は、ウミガメの産卵をできなくさせるだけでなく、平塚市民の防災上の危険性が高まります。

ウミガメは外敵に襲われる可能性がある明るい浜辺には産卵にやってきません。静かで暗い海岸を選んで夜間に上陸します。もし、平塚海岸の海岸樹林帯を伐採して駐車場やコンビニなどの商業施設をつくってしまったら、ウミガメが来なくなってしまうかもしれません。実際、国道134号よりも海側の商業開発が進んでいる藤沢市や茅ヶ崎市では、近年ウミガメが産卵にくることはなくなっています。



## 海岸に樹林帯がある。当たり前ではありません。

なぜなら海岸は自然が厳しいから。強い風が砂地を揺らし、根っこを生やすことが出来ません。砂漠に木を植えることと同じように、とても難しいことなのです。しかし神奈川県は長年かけて海岸樹林帯を育ててきました。今、平塚市と積水ハウス等が開発しようとしている場所(市営龍城ヶ丘プール跡地東側)も、県が植樹し、管理してきた樹林帯です。県が、樹々を植え、それが育ってきた経過は、過去の地図を見ていただくと、よくわかります。



平塚市と積水ハウス等が伐採しようとしている樹林帯(黄色の線/赤線は計画区域全体)

**1988年~1990年**

- このころは樹林帯がなかった。

**2007年**

- 樹林帯が育ってきた。

神奈川県が植えたもの。樹林帯が育ってきたちょうどこのころ、ウミガメが産卵にくるようになった。

**2019年**

- 豊かな森になった